

# ノザワが農業分野参入

## 岩から肥料を精製し販売

ノザワ(神戸市中央区)は17日、かつて建材の原料として使っていた岩から肥料を精製し、3月から販売を始めた、と発表した。同社が農業分野の事業を手掛けるのは初めて。既存の製品より作物の吸収性を高めたことで、より丈夫に生育を促すといいい、農家や商社、農業に新規参入した企業などに売り込む。

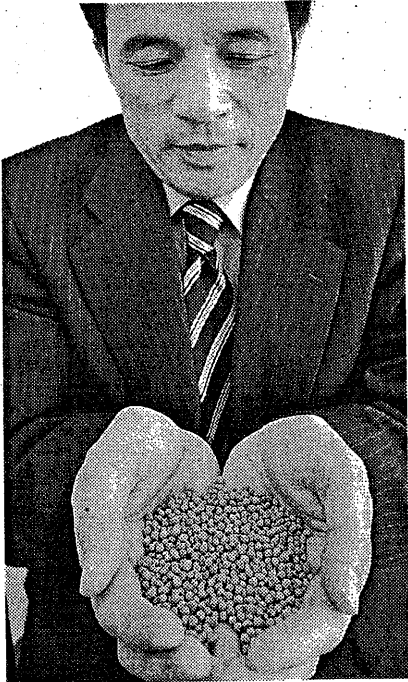
(佐伯竜一)

同社は1960年代まで、北海道で当時建材に使用されていた石綿の原料蛇紋岩を採掘していた。しかし石綿の有害性が指摘され、10年ほど前から模索。石綿を除き、無害化する技術を確認させた。その上で、東京農業大と蛇紋岩の成分などを共同研究した結果、肥料に適していると判明。2年ほどかけて製品化して

ぎ着けた。製品名は「マインマグ」。主成分はケイ酸とマグネシウムで、作物の莖や葉を強くし、光合成や養分吸収を促す効果をもたらす。とりわけ、ケ

イ酸は独自技術で水溶性を高め、作物に吸収されやすくした。農薬の使用量削減も期待できるとい

う。即効型と持続型の2タイプをそろえ、卸値は1キ70〜100円程度を想定。夏ごろまでに、北海道富良野市の製造ラインを約5千万円かけて増強し、2010年度は500ト、12年度は4千トの販売を目指す。



建材メーカーのノザワが、岩を原料に開発した肥料「マインマグ」＝神戸商工会議所